

学科名	生物環境化学科／経営ビジネス学科						
科目名	環境学入門						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	菅野 憲一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境汚染と地球温暖化を中心とする地球環境問題の現状を説明できる。 ・身近な問題から地球規模まで、全ての環境問題が現在の消費型社会経済システムと結びついていることを説明できる。 ・消費型から循環型へ社会経済システムの転換に必要な考え方を、環境倫理学や環境経済学の視点から説明できる。 						
日程と内容	<p>4/9 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 環境関連の検定や資格などについての説明。</p> <p>4/16 持続可能な社会に向けて、地球人としてのわたしたち（わたしたちの地球と自然環境）</p> <p>4/23 地球人としてのわたしたち（環境問題の実態1）</p> <p>4/30 地球人としてのわたしたち（環境問題の実態2）</p> <p>5/7 地球人としてのわたしたち（環境問題の実態3）</p> <p>5/14 環境と経済・社会（環境をめぐる世界の動き）</p> <p>5/21 環境と経済・社会（環境と社会）</p> <p>5/28 環境と経済・社会（環境と経営）</p> <p>6/4 環境と経済・社会（環境と商品）</p> <p>6/11 わたしたちの暮らしと環境（個人の暮らしと環境問題、豊かな食事と環境の関係）</p> <p>6/18 わたしたちの暮らしと環境（自然と共生した住環境）</p> <p>6/25 わたしたちの暮らしと環境（生活と環境）</p> <p>7/2 環境と共生するために、環境・循環型白書、最近の環境分野におけるトピックス</p> <p>7/9 エコ検定試験過去問題（演習を含む）</p> <p>7/16 定期試験</p> <p>7/23 まとめ</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	40%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境汚染と地球温暖化を中心とする地球環境問題の現状を説明できる。：達成した。 ・身近な問題から地球規模まで、全ての環境問題が現在の消費型社会経済システムと結びついていることを説明できる。：達成した。 ・消費型から循環型へ社会経済システムの転換に必要な考え方を、環境倫理学や環境経済学の視点から説明できる。：達成した。 						
反省点	合格率は高く維持することができた。また、合格者の平均点は90点であることから、講義内容を十分に修得しているといえる。						
来年度の計画	次年度はもう少し生活に密着した内容を話題に挙げたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価の平均は8.3であった。総合評価は平均的な数値だったので、次回はより多くの受講者にエコ検定にチャレンジしてもらいたいです。						
履修登録者数	88名	定期試験 受験者数	74名	合格者数	68名	合格率	92%